

行政評価(施策評価シート)

1 基本項目

基本目標3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策1	ともにつくる住みよい地域社会の実現
施策17	基地対策
基本方針	
横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国及び米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行っていきます。	

2 施策を構成する事務事業の実施・評価結果

No	事業名	平成26年度実施結果			評価(所管課長)				指標に係る重点事務事業
		決算/円	執行率	進捗状況	妥当性	効率性	有効性	方向性	
1	横田基地に起因する諸問題についての国及び米軍等への要請	59,000	98.3%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
2	特定防衛施設周辺対策事業の充実要請	10,771	23.9%	計画どおり完了	○	○	○	A	
3	横田基地関連情報の収集	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	
4	航空機騒音、航空機飛行高度などに関する測定	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	
5	横田基地に関する市民への情報提供	-	-	計画どおり完了	○	○	○	A	

3 施策評価

① 施策の評価

横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、横田基地周辺自治体と連携して、市民の安全確保、航空機騒音等の軽減、航空機飛行高度測定調査の実施などに関する要請について時機を捉えて実施してきた。米軍機による騒音や米軍機による事故、基地内で行われる訓練、米軍人等による不祥事などが発生しており、横田基地に起因する問題の解決に向け、適時適切に対応していかなければならない。

② 今後の方向性(改善への取組み等)

米軍基地に関しては、日米地位協定により、日米合同委員会での合意事項に沿って運用がなされている。基礎自治体においては、市民の声を第一に、国に対する働きかけを通じて、横田基地に起因する諸問題の解決に努めることが肝要である。今後も引き続き、横田基地周辺市町と連携し、国や米軍に情報提供を求めていくとともに、横田基地に起因する諸問題の解決に向けた要請等を実施していく。また、航空機騒音等の障害の緩和及び市民の生活及び事業活動の障害の緩和のため、必要な施設整備等を実施する際には、国の補助金などを活用することができるよう、国に対する働きかけ・交渉を行っていく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
1	横田基地に起因する諸問題についての国及び米軍等への要請	不明 年	その他	自治事務(市独自)	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	事業番号	1	

2.事業の概要

事業内容	航空の機騒音や事故など、横田基地に起因する諸問題について、横田基地周辺市町基地対策連絡会等を通じ、国及び米軍などに要請します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	横田基地周辺市町基地対策連絡会などを通じた安全確保・騒音防止等の整理・縮小・返還要請	横田基地周辺市町基地対策連絡会などを通じた安全確保・騒音防止等の整理・縮小・返還要請	横田基地周辺市町基地対策連絡会などを通じた安全確保・騒音防止等の整理・縮小・返還要請	横田基地周辺市町基地対策連絡会などを通じた安全確保・騒音防止等の整理・縮小・返還要請

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	416 H	1人	416 H	1人	416 H	1人	416 H
主事・主任職	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	61	60	60	60
人件費(係長職)	2,120	2,085	2,085	2,085
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	2,181	2,145	2,145	2,145
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,181	2,145	2,145	2,145
財源内訳(合計)	2,181	2,145	2,145	2,145

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	38	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の 出来高		円
※対象者				円

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地周辺市町基地対策連絡会及び横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会として、横田基地に起因する諸問題の解決のため、文書及び口頭による要請を17回行った。
 その他、防衛施設周辺整備全国協議会や全国基地協議会を通じての国への要望、東京都市長会による東京都への要望など、様々な機会を通じて、働きかけを行った。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	60,000		60,000	59,000	98.3%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
横田基地では、日米地位協定に基づき、米軍による航空機等の運用が行われており、騒音などに関する苦情が市に寄せられている。	米軍の運用状況によって大きく左右されるものであるが、平成26年度は前年度に比べ、騒音に関する苦情件数は増えている。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td style="text-align: center;">→ [効率性]</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	→ [効率性]	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当							
← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	→ [効率性]							
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討								
	低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)

米軍基地に関することは、日米地位協定に基づき、日米合同委員会でなされた合意事項にそって米軍の運用がなされている。

基礎自治体においては、市民の声を第一に、国に対する働きかけを通じて、諸問題の解決に努めることが肝要である。今後も引き続き、横田基地周辺市町と連携し、国に対する働きかけを行っていく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2	特定防衛施設周辺対策事業の充実要請	不明 年	その他	自治事務(市独自)	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17	基地対策	事業番号	2

2.事業の概要

事業内容	公共施設の整備等に向けた防衛補助等の拡充について、横田基地周辺市町基地対策連絡会等を通じ国へ要請します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	国へ防衛補助等の拡充を要請	国へ防衛補助等の拡充を要請	国へ防衛補助等の拡充を要請	国へ防衛補助等の拡充を要請

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	110H	1人	110H	1人	110H	1人	110H
主事・主任職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	46	45	45	45
人件費(係長職)	561	552	552	552
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	607	597	597	597
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	607	597	597	597
財源内訳(合計)	607	597	597	597

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	11	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の出来高		円
※対象者				円

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか)

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地に起因する航空機騒音等の問題解決のため、その障害の緩和に資する生活環境施設等の整備費用を国庫補助対象とすべく交渉をすすめた。

26年度の成果としては、調整交付金案件として、東小学校屋上改修事業および清流会館改修事業を実施した。民生安定施設助成としては、平成26年度事業として防災行政無線整備事業の採択および実施、平成27年度事業として富士見公園改修事業およびスイミングセンター改修事業が採択された。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	45,000		45,000	10,771	23.9%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
平成26年度の施設等整備事業の採択を受けるための交渉および調整を図った。	採択された事業について、交付申請等の手続きを踏まえ補助金の交付決定に至った。次年度事業について調整等を図り、補助採択を受けることができた。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性					
低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
		低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
横田基地に起因する諸問題がある限り、その障害の緩和に資する施設整備補助など国庫補助について国に対する働きかけを行っていく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
3	横田基地関連情報の収集	不明 年	その他	自治事務(市独自)	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17	基地対策	事業番号 3

2.事業の概要

事業内容	横田基地に関する情報の提供や説明を国等に求めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	国等へ情報提供を要請	国等へ情報提供を要請	国等へ情報提供を要請	国等へ情報提供を要請

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	416H	1人	416H	1人	416H	1人	416H
主事・主任職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	2,120	2,085	2,085	2,085
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	2,120	2,085	2,085	2,085
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,120	2,085	2,085	2,085
財源内訳(合計)	2,120	2,085	2,085	2,085

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	37	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の出来高		円
※対象者				円

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか)

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地及び防衛省北関東防衛局からの情報収集や、横田基地に起因する諸問題について、横田基地周辺市町での情報共有に努めた。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0	0	0	0	-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
横田基地及び防衛省北関東防衛局からの情報収集や、横田基地に起因する諸問題について、横田基地周辺市町での情報共有に努めた。	横田基地及び防衛省北関東防衛局からの情報収集や、横田基地に起因する諸問題について、横田基地周辺市町での情報共有に努めた。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性					
低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
		低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)

今後も引き続き、同様に取り組んでいく必要がある。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
4	航空機騒音、航空機飛行高度などに関する測定	平成 24 年	その他	自治事務(市独自)	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課	環境保全課					
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	事業番号	4	

2.事業の概要

事業内容	横田基地に関係する航空機の騒音や飛行高度などを測定します				
根拠法令					
条例					
要綱等					

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。				
------	-----------------------------	--	--	--	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	航空機の騒音測定 (2カ所) 航空機の飛行高度測定に関する調査研究	航空機の騒音測定 (2カ所) 航空機の飛行高度測定に関する調査研究 ・高度測定を実施するよう国に要請 ・測定手法の検討	航空機の騒音測定 (2カ所) 航空機の飛行高度の測定・公表	航空機の騒音測定 (2カ所) 航空機の飛行高度の測定・公表

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	416 H	1人	416 H	1人	416 H	1人	416 H
主事・主任職	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	2,120	2,085	2,085	2,085
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	2,120	2,085	2,085	2,085
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,120	2,085	2,085	2,085
財源内訳(合計)	2,120	2,085	2,085	2,085

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	37	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の 出来高		の コストは
※対象者				円

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

米軍機の運用における飛行高度において、日米合同委員会合意事項が遵守されているかどうかを把握するための調査を実施するよう、国に対して要請を行った。

- 総合要請(横田基地に関する東京都と周辺市町基地対策連絡協議会)
- 防衛施設周辺整備対策に関する個別要望(防衛施設周辺整備全国協議会)(対 国)
- 平成26年度関係政府機関に対する要望(東京都)(対 国)
- 平成27年度東京都予算編成に対する要望(東京都市長会)

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0		0		-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
米軍機の運用において、飛行高度が低いのではないかと市民からの声が寄せられている。	市は、日米合同委員会の合意事項が遵守されているかどうかを判断する立場にないため、国の責任において、遵守されているかどうかの確認を行うよう要請を行った。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

- ◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの
- ・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性					
低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
		低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
米軍機の飛行高度については、日米合同委員会の合意事項が遵守されるべきものであり、その合意事項が遵守されているかどうかについては、国が確認すべきものである。 引き続き、国の責任において米軍機の高度測定を行うよう働きかけていく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
5	横田基地に関する市民への情報提供	不明 年	その他	自治事務(市独自)	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	事業番号	5

2.事業の概要

事業内容	横田基地に起因する様々な問題について、市民への情報提供に努めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.成果指標

成果目標	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に努める。
------	-----------------------------

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	広報紙・市公式ウェブサイトを活用した情報提供	広報紙・市公式ウェブサイトを活用した情報提供	広報紙・市公式ウェブサイトを活用した情報提供	広報紙・市公式ウェブサイトを活用した情報提供

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	416 H	1人	416 H	1人	416 H	1人	416 H
主事・主任職	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H	0人	0 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	0	0	0	0
人件費(係長職)	2,120	2,085	2,085	2,085
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	2,120	2,085	2,085	2,085
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,120	2,085	2,085	2,085
財源内訳(合計)	2,120	2,085	2,085	2,085

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	37	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果物		の出来高		の COST は
※対象者				円

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

横田基地に関する諸問題等への対応や横田基地における訓練に関する情報、防衛省及び米軍等からの情報提供内容について、時機を捉えた情報提供を行った。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	0		0		-

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
横田基地に関する諸問題等への対応や防衛省及び米軍等からの情報提供について、時機を捉えた情報提供を行った。	横田基地に関する諸問題等への対応や防衛省及び米軍等からの情報提供について、時機を捉えた情報提供を行った。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		今後の方向性
高 [妥当性・有効性]		A
↑	高 [効率性]	
低	低	
↓		

↑

B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討	

↓

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)

横田基地における訓練の情報やそれに伴う要請活動、基地における態様の変化など、その状況に応じた迅速な対応を要するものが多くあり、それらを的確に市民に情報提供していく必要がある。また、それに伴う市民からの問合せについても丁寧な対応が求められることから、今後も引き続き迅速かつ正確な対応を行っていく。